埼玉自動車大学校版

〒362-0806
北足立郡伊奈町
小室1123番地
048(723)5522

第59回卒業証書授与式

卒業生398人の門出

第59回卒業証書授与式が3月18日、佐藤由江初代校長記念館で行われ、398人の卒業生が学び舎を巣立った。

会場では、卒業生一人ひとりの呼名と返事が響きわたり、菊地孝司校長から卒業生総代に卒業証書、整備士一種養成施設修了証が手渡された。

校長式辞では、「本学園の建学の精神『人間是宝』の理想のもと、『人は生きた資本資産なり。人は誰でも勉強次第でその道の第一人者になれる』を自覚し、様々な学校行事において、多くの仲間とともに力を合わせ日々努力精進し、一人ひとりが輝いていく姿を見て感動していました。本校の校訓、徳・技・知の教えを忘れることなく、大きく世界に羽ばたいてくれることを期待します」と言葉を贈った。

続いて関東運輸局埼玉運輸支局塩田一浩支局長、永田早苗親交会会長から祝辞があり、送辞、答辞、保護者謝辞と厳粛に式が進められ、卒業生を送り出した。

◎各賞受賞は次の通り。

○理事長賞　上坂優太

○校長賞　天沼幸駿

○全国自動車大学校・整備専門学校協会会長賞　中沢建太　岩﨑凌太　櫻森隆太

○（一社）日本自動車整備振興会連合会会長賞　須賀井真

○（一社）職業教育・キャリア教育財団理事長賞　岡主　拳

退寮式

退寮生の門出を祝う

退寮式が3月13日、本校講義室にて行われ、卒業を機に16名の寮生が退寮した。式では菊地孝司校長から「人によって寮での生活した年数に違いは有るが、楽しかったこと、辛かったことなど色々な経験をしたと思う。しかし終わってみれば良い思い出になる。住み慣れた地元を離れ、一人暮らしをしたことにより、親や家族のありがたみが分かったと思うので、これからも寮生活の思い出を胸に、健康に注意し頑張っていってほしい」と退寮生に励ましの言葉を送った。

退寮生を代表して、一級自動車整備科4年中沢建太君が「寮生活を通じて様々な事を経験できた。社会に出てからはこれまでの経験を活かし、一人前の整備士になれるよう頑張りたい」と挨拶した。

その後懇親会に移り、寮生同士思い出話に花を咲かせていた。

保護者が卒業謝恩会

卒業謝恩会が卒業式の後、大宮の清水園で教職員、保護者133名が出席して開催された。

会では、謝恩会実行委員長の鈴木啓子さんより「今日まで、親と子の懸け橋として、熱心に教育していただき、成長させていただいたのも校長先生をはじめ諸先生方の情熱と愛情あふれるご指導のたまものと感謝申し上げます」とのお礼が述べられた。

その後、保護者から教職員へ花束と記念品が贈られ、菊地孝司校長からは「学生生活の最後として、堂々と胸を張ったすばらしい卒業式でした。世の中には大変なことがたくさんありますが、卒業生達には学校生活で学んだことに自信を持って生活してもらいたいと願っております」と挨拶した。

実習環境充実で新入生を歓迎

学生満足度向上を常に心掛けている本校において、今度は実習場の床面を全て一新した。これにより実習場が今まで以上に明るくなり、技術を習得する環境が更に向上した。

工事は授業に影響が出ないように、年間の授業が終了した2月下旬より開始し、多くの実習車や教材がある関係で順次教材を移動しながら行い、3月中旬に全て完成し4月からの新入生を迎えることが出来た。新入生は、オープンキャンパス等に参加した際に見た実習場より環境が整っていることに驚いている様子であった。

この新しい環境に合わせるように自動車メーカーやディーラーより最新技術搭載車や大型トレーラーが寄贈され、建物だけでなく内容も充実し新しい年度がスタートした。

自動車整備士技能登録試験

自動車整備士技能登録試験が3月26日に、例年どおり本校を会場に実施された。本校は学生472名が一級小型自動車整備士、二級ガソリン整備士、二級ジーゼル整備士、自動車車体整備士をそれぞれ受験。各科とも各自の苦手分野を克服するためにパソコンによる模擬試験成績管理をより徹底し、当日は、万全の態勢で試験に臨んだ。4月11日の合格発表では、100％の合格率達成を期待したい。